



▲協定を調印し、握手する植島磯城野高校長、森町長、松長奈良朱雀高校長（左から）

3月24日、町役場で田原本町と県立磯城野高校、県立奈良朱雀高校が包括連携協定を結びました。これは、農業分野で磯城野高校、商業・工業分野で奈良朱雀高校と連携し、町の持つ魅力を最大限に発揮することを目的としたものです。両校は4月24日と11月3日に開催する「やどかり市」の企画や運営を手始めに、田原本駅前周辺の活性化に取り組みむことにしています。

3月
24

農業、商業、工業分野で連携 町と県立磯城野高校、県立奈良朱雀高校包括連携協定



▲謝辞を述べる福井さん

3月12日、中央体育館で「平成27年度田原本町スポーツ少年団退団式」が行われ、199人の団員が退団しました。式では榮田本部長、来賓の森町長と新葉体育協会会長からのあいさつの後、全団員を代表して田原本南スポーツ少年団の福井羽音さんが「中学校に行っても、この経験を忘れずにバレーボールを楽しんでいきたい」と謝辞を述べました。

3月
12

各地区199人の団員が退団 平成27年度田原本町スポーツ少年団退団式



▲溶かした金属を流し込む

3月25日、青垣生涯学習センターで「ミニ銅鐸づくり体験」が開催され、12人の子どもと保護者らが参加しました。これは、古代のものづくりに触れてもらうことを目的としたものです。最初に作り方の説明を聞いた後、140度程度で溶ける金属を鑄型に注ぎ込み、手のひらサイズの銅鐸を作りました。参加者は、完成した銅鐸を鳴らし音色を楽しんでいました。

3月
25

古代のものづくりに触れる ミニ銅鐸づくり体験



▲自治会から実践発表が行われる

3月13日、青垣生涯学習センターで町青少年健全育成推進協議会主催の「青少年健全育成の集い」が開催されました。町内各校区から選ばれた5つの自治会が、1年をかけて進めてきた子どもとのつながりを強める取り組みを発表されました。その後、田原本中学校吹奏楽部の演奏で、町内合唱グループと参加者全員が合唱。元気な歌声が会場に響き渡っていました。

3月
13

子どもとのつながりを強める 青少年健全育成の集い

3月
27

ごみのないきれいな町へ 町身体障害者福祉協会「クリーンキャンペーン」



▲協力してごみを拾い集める

3月27日、町身体障害者福祉協会が、町役場周辺でクリーンキャンペーンを行いました。この活動は、日ごろから福祉サービスを利用する同会員たちが、社会への恩返しに始めた清掃活動です。

当日は、植え込みや堤防沿いに捨てられたごみを協力して拾い集めました。金子会長は「きれいな町づくりのため、活動を続けていきます」と抱負を述べました。

3月
30

交通事故に遭わないように 県交通安全協会からランドセルカバーが贈呈



▲贈呈されたランドセルカバーとともに

3月30日、県交通安全協会天理支部協会から片倉教育長にランドセルカバーが贈呈されました。

このランドセルカバーは、新入学児童が1人でも悲しい交通事故に遭わないようにとの思いが込められています。

贈呈を受けた片倉教育長は「子どもたちの交通安全と事故防止のために役立てていきます」とお礼の言葉を述べました。

4月
6

交通事故を防止するため

平成28年春の交通安全県民運動出発式



▲交通安全を啓発する森町長

4月6日、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止を図るため「平成28年春の交通安全県民運動出発式」が、JR天理駅前広場で行われました。

式では、奈良県交通安全協会天理支部協会の梶田会長から交通安全宣言が読み上げられ、天理駅前道路で交通安全啓発活動などが行われました。その後、パトロールへと出発、さらなる啓発を図りました。

4月
9

「人権のまちづくり」を目指して

第28回「人権を確かめあう日」磯城郡集会



▲磯城郡三町を代表して開会あいさつをする志野三宅町長

4月9日、三宅町文化ホールで磯城郡三町共催による第28回「人権を確かめあう日」磯城郡集会が行われました。これは、差別の撤廃を願う「人権のまちづくり」を目指していることを目的に開催されています。

集会では、主催者を代表して志野三宅町長のあいさつや、記念行事として映画が上映されました。参加者たちは、人権について考える機会にっていました。